鹿児島市立病院だより

みなと大通り公園の夜景

・病院長　新年のご挨拶
・電子カルテ導入
・鹿児島市立病院建設工事 ～竣工まであと１年～
・診療科紹介 ～心臓血管外科～
・病院における包括的口腔ケア
・看護科紹介 ～看護補助者集合教育～
・緩和ケア研修会報告
・外来診療案内

病院広報・医療連携誌
平成２６年１月　第16号

新年のご挨拶

鹿児島市立病院病院長
坪内　博仁

新年明けましておめでとうございます。
皆様には、お健やかに希望に満ちた新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。昨年は、大変お世話になり、心から感謝申し上げます。本年も、どうかよろしくお願い申し上げます。

市立病院は、救急医療、周産期医療を中心として地域医療に貢献していることはご承知の通りですが、併せてがん診療にも力を入れ、がん診療拠点病院の認定も受けています。悪性新生物による死亡は増加の一途をたどっており、国民衛生の動向2010/2011では、人口10万人対の死亡率は250を超え、300に達しようとしています。いうまでもなく、わが国の３大死因は悪性新生物、心疾患、脳血管疾患ですが、その中で心疾患はほぼ横ばいで人口10万人対の死亡率は約150、脳血管疾患は減少の傾向にあり約100であることと比べますと、悪性新生物の著しい増加は対照的です。部位別に悪性新生物をみますと、男女とも消化器がんと呼吸器がんが多いことが特徴になっています。実際、肺がん検診にＣＴ検査が取り入れられるようになり、肺がん患者が増加しています。市立病院ではこの１月より、鹿児島大学病院呼吸器外科佐藤教授の全面的な支援を受けて、呼吸器外科の診療を開始することになりました。呼吸器外科を担当していただく先生は柳　正和先生と鈴木聡一先生で、呼吸器内科の先生方と連携した呼吸器疾患の一体化した診療が可能になり、当院のがん診療機能が充実し、患者様や地域の先生方にも貢献できるのではないかと思っています。

また、本年は２年に一度の診療報酬改定の年でもあり、すでに診療報酬本体では＋0.73％、薬価改定などでは－0.63％で、全体では＋0.1％ということが公表されています。
平成26年４月からの消費増税に伴うコスト増対応分を除いた実質改定率では、平成20年の改定以来６年ぶりのマイナス改定となっています。平成26年度診療報酬改定の基本方針では、この消費税率の引き上げによる財源を活用して医療機関の機能分化・強化と連携、在宅医療の充実等に取り組むことが重点課題の一つにあげられています。すなわち、患者の立場に立って、患者がどのような状態であっても、その状態に応じた適切な医療を受けられるために、病院、診療所、薬局、訪問看護ステーションなどが円滑に連携することが求められています。このような医療提供体制改革のための基金として900億円が予算化されています。当院としても、医療連携室を中心にさらに医療連携の充実に積極的に取り組みたいと考えています。どうかよろしくお願い申し上げます。

電子カルテ導入 ～平成25年12月より～

鹿児島市立病院副院長
電子カルテ導入部会長　　平原　一穂

当院では平成17年10月にオーダリングシステムを導入しましたが、昨年の平成25年12月に遅ればせながら全面的に電子カルテの導入を行いました。オーダリングシステムはNECでしたが、今回は富士通のHOPE/EGMAIN-GX（ホープ/イージーメイン-ジーエックス）システムを約１年半の準備期間を設けて導入しました。

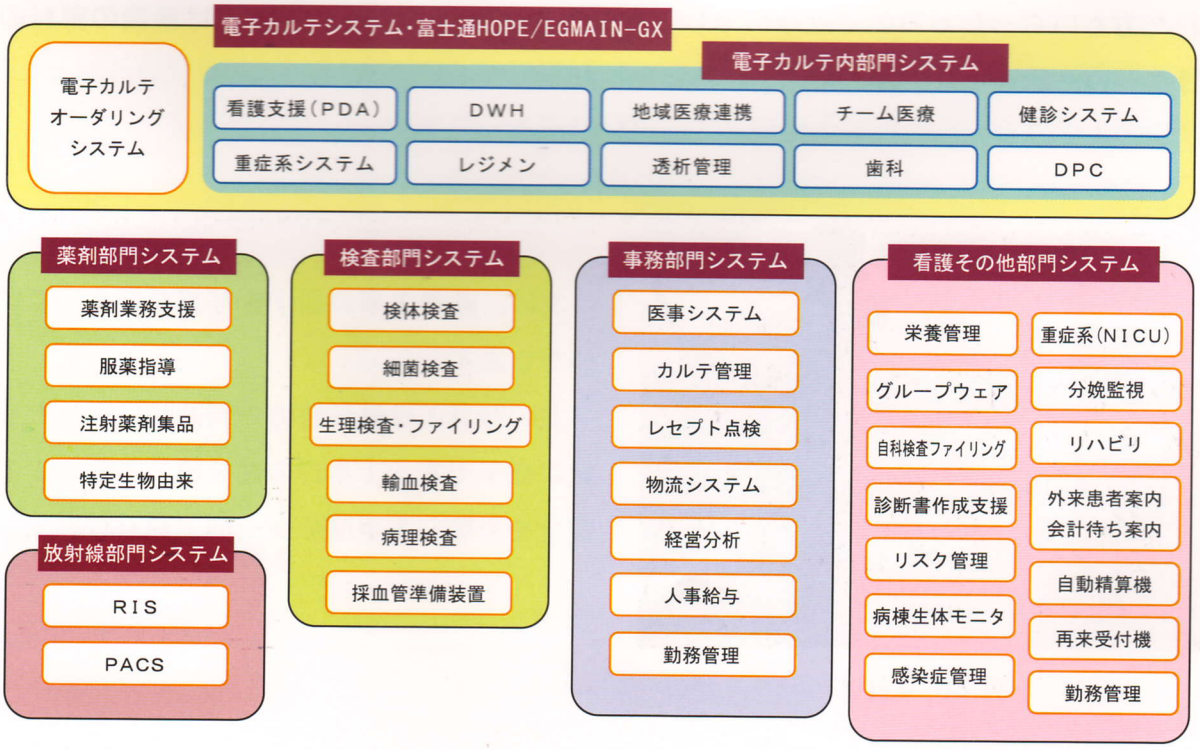
既存のオーダリングシステムに加え、今回新たに15種類の新規システム、すなわち重症系（救急センター、ICUは富士通、NICUはフィリップスジャパン）、分娩監視システム（アトム）、診断書作成支援システム（ニッセイ）、褥瘡管理システム、感染症管理システム（オネスト）、透析オプションシステム、チーム医療NST、自家検査ファイリング（Beeline）、病棟生体モニタ系（日本光電、フクダ電子）、歯科電子カルテシステム、レセプト点検システム・経営分析システムなどを導入しました。

導入してまだ１ヶ月足らずですが、おかげさまで大きなトラブルもなく、おおむね順調に診療を行うことができています。一方で操作の習熟に伴い様々な課題や要望も出ており今後の検討課題となっています。

電子カルテにはこれまでに多くのメリット、デメリットが指摘されていますが、操作に習熟することによりそのメリットを最大限に生かすこと、また各部署から提出された課題に関しては、その内容を検討して必要があれば逐次改善していくことが今後の運用をスムーズにしていく上で重要と考えています。

医療連携に関しては、電子カルテの利点を生かしてさらにスムーズに連携ができるように努力したいと思います。

◆鹿児島市立病院　電子カルテシステム　構成図



鹿児島市立病院建設工事 ～竣工まであと１年～

病院建設室
室　長　　上田　良二

新病院の工事は、平成24年９月の着工以来、２回目の冬を迎えました。工事現場では、寒風吹きすさぶ中、工事関係者が冷たい風が吹く厳しい環境下で作業を続けていますが、県内でも例の少ない大規模な工事を前に、関係者は皆、熱い気持ちで毎日の作業に臨んでおり、現場は、活気に満ちています。

新病院の建設工事につきましては、前号（９月号）でご紹介しましたように、地震時にも病院としての機能を維持するために必要な免震装置を平成25年９月までに設置しています。

また、この作業と並行して平成25年８月下旬から鉄骨工事に着手し、南側から建方を開始しました。新病院は幅120m、奥行き90mで、建築面積が約11,000m^{2}あり、非常に大きな建物であることから、これを３工区に分割し、片方から一方向に建てていく「建逃げ」という施工方法で鉄骨を建てております。新病院は、８階建て（上階に塔屋階及びヘリポート階あり）、高さ約40mの非常に高い建物であり、鉄骨工事が進むにつれ、徐々にその姿を現してきました。

新病院の建設工事着工以来、掘削、地盤改良、杭及び免震と土工事を中心とした工事を進めており、外部からは工事の状況を窺うことはできませんでしたが、昨年夏に巨大な鉄骨躯体が建ち始めた様子を見ると、近くを通られた皆様の中には、工事が進んでいることを実感された方もいらっしゃるのではないでしょうか。その鉄骨工事も12月末には最後の部材の取付けを行い、約４ヶ月で建方を完了いたしました。

写真１　立柱式

次に、鉄骨工事の様子を写真を交えてご紹介いたします。

左の写真１は鉄骨建方の開始時に行った立柱式の様子です。１本目の柱を建てる際、工事の安全を祈願し工事関係者一同で執り行いました。

下の写真２と３は鉄骨建方工事の様子です。とび職の作業員の方々が、大型クレーンを駆使し、重量のある鉄骨の柱や梁を組み上げていく姿は、まさに職人技と思わせる作業風景です。重量物を扱う作業や高所での作業は危険が伴いますが、施工業者、作業員の徹底した安全管理のもと、鉄骨工事を無事故・無災害で終えることができました。

写真２　鉄骨建方工事（H25.9.17）
病院本棟南側から建てています。

写真３　鉄骨建方工事（H25.12.3）
ヘリポートや病院本棟の形も確認できます。

下の写真４と５は、敷地全体を撮影した航空写真で、写真４が鉄骨建方前、写真５が鉄骨建方終盤の様子になります。病院敷地（左手）はもちろん、右手の交通局用地でも工事が行われている様子が分かり、かつてのＪＴ跡地は今まさに工事ラッシュとなっております。

写真４　航空写真（H25.8.23）

写真５　航空写真（H25.11.20）

新病院の建設工事につきましては、現在１階の躯体工事を行っており、その後内装工事に着手いたします。また、平成26年度は、いよいよ竣工を控えた工事の最終年度であり、舗装や植栽等の外構工事や保育所建設工事を発注いたします。今後も万全の安全管理のもと、工事を進めてまいります。

最後になりましたが、新しい病院が、利用される患者家族等の皆様に喜ばれるよう、最善を尽くしてまいりますので、今後とも各方面からご指導、ご協力をお願いいたします。

診療科紹介 ～心臓血管外科～

心臓血管外科
部　長　　牛島　孝

平成21年４月より西元寺先生に変わって牛島が赴任し、血管外科を専門に診療させていただいています。腹部大動脈瘤や末梢血管疾患が中心になります。主な疾患としては動脈疾患の腹部大動脈瘤、末梢動脈瘤、閉塞性動脈硬化症（ASO、PDA）、バージャー病（TAO、ビュルガー病）、急性動脈閉塞症、糖尿病性壊疽、静脈疾患の下肢静脈瘤、深部静脈血栓症（DVT）の静脈血栓症、また、リンパ浮腫、血管外傷、透析シャントトラブルなどです。その他、血流評価や周術期の深部静脈血栓症の予防指導を行っています。治療では血管修復、人工血管置換術、バイパス術、下肢静脈瘤の手術の他、経皮的血管形成術（PTA、ステント）の血管内治療、リハビリ指導、弾性ストッキングなど保存的治療を行っています。10月までの１年間での手術症例数は187例でした。下肢静脈瘤の血管内レーザー治療は認定施設となっています。低侵襲で保険適応になり、また、抗血小板剤や抗凝固剤内服継続下でも安全に施行できることは大きなメリットです。今年度は66例を局所麻酔下に行いました。現在は１泊入院ですが、外来手術体制の準備をしています。また、閉塞性動脈硬化症に対する血管内治療は年間約100例を行いました。壊疽や創傷治癒不良の症例、蜂窩織炎、合併症が多く、形成外科、整形外科、皮膚科、循環器科、内科、泌尿器科、脳外科、婦人科との協力で治療を行っています。院外に向けて鹿児島実践フットケア研究会を開催し、コメディカルを含めた勉強会を定期的に行い、地域医療、予防医学に取り組んでいます。

今年度から新病院移転に伴う心臓手術の準備のため４月から峠（たお）　幸志君が着任しました。新病院では開心術を行い鹿児島県内の心臓大血管緊急疾患にも対応できるよう準備をしています。現在火、木曜日午前中の初診外来診療としていますが、透析患者様や離島の患者様ではその他曜日の受診を連絡いただければ幸いです。マンパワー不足や設備面などでまだまだ不十分ですが、地域の皆様、医療機関の先生方にお役に立てればと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

心臓血管外科外来スタッフ

病院における包括的口腔ケア

歯科口腔外科
部　長　　上橋　陸海

入院患者における口腔ケアの必要性は、当初、誤嚥性肺炎と口腔環境との関連が指摘され、これについて種々の研究、証明されて参りました。包括医療が導入され、医療費の面からも包括的口腔ケアが現実的に必要性をおびてきました。実際には、いずれの病院、施設でも口腔ケアのスタートラインには立ち得ても適切な目標達成には届いてないのが現状です。

鹿児島市立病院における口腔ケアは、従来各科主治医より依頼があった時に実施していました。一昨年より医局内で検討を続け、昨年秋より口腔ケア対応を行う決定を致しました。９月には当科に歯科衛生士１名が増員され、歯科衛生士３名、看護師２名、歯科医師２名で対応しています。限られたスタッフの許容範囲で通常の歯科口腔疾患の外来、入院手術と包括的口腔ケアを両立するには機能的システム構築と病院全体の協力は必須です。

入院患者の多くで口腔機能が低下しています。細菌の巣窟となる歯垢、歯石、歯周炎、齲蝕、口内炎、口腔乾燥など口腔の合併症を有しているのが現状です。このような口腔ケアが必要な対象は主に下記のような患者や時期(病期)です。

1）周術期　　2）癌化学療法前後
3）放射線治療前後　4）誤嚥性肺炎
5）ICU患者　　6）意識障害
7）造血幹細胞移植前後
8）ビスフォスフォネート投与前後
9）NST対象患者　10）摂食機能障害
11）摂食機能障害　12）認知症患者

このような患者や時期(病期)においては下記のような所見を呈しする場合があります。

病院歯科口腔外科の役割は口腔外科疾患の診療だけでなく、口腔機能を回復維持するための治療から機能回復まで行なうのが原則です。その起点は口腔ケアです。入院中、各科、病棟との連携による口腔ケアの連続として退院後の地域歯科医療機関と連携があって包括的口腔ケアが完成します。当科はこの連続性を基本として対応します。

包括的口腔ケアの利点は口腔合併症の発生、口腔機能の低下による摂食、嚥下障害、誤嚥性肺炎、低栄養、食べる楽しみの喪失、手術後の合併症併発の予防です。包括医療では医療費の高騰や入院期間の延長が防げるという利点があります。

新しい年を迎え、包括的口腔ケアを病院各部門と協力して推進して参りたいと思います。

看護科紹介 ～看護補助者の集合教育～

看護科
副総看護師長　　原田　ひさ子

平成25年度より厚生労働省では、看護職員の雇用の質向上を図るために、医療現場における看護補助者の活用を推進しています。

鹿児島市立病院は看護補助者を、昭和53年より雇用しており、今年度12月現在、94人を加算病棟及び手術室等に29名、一般病棟に65名を配置しています。

急性期病院である当院は、病院の役割拡大に伴う看護の質を維持するためには、看護補助者との協働・役割分担が求められます。そこで、看護補助者の能力向上のために年間教育計画を立て、現場教育と集合教育を行っています。

今年度の看護補助者の集合教育は、目標を「医療チームの一員として看護補助者の役割を認識できる」とし、チームの一員としての認識を高める内容や基本的技術の演習を組み合わせた内容で年２回実施しました。

第２回研修は、参加者は90名で11月26日と12月６日の２日に分け、医療安全研修をしました。研修のねらいは、

1）看護補助者としての業務遂行に必要な知識の習得

2）患者の状況に応じた統一された安全な看護補助技術の提供ができる

とし、「KYT（危険予知トレーニング）」の講義と、イラストの資料をみて「患者の立場になってどんな危険が潜んでいるかを考える」ということでグループワークを行いました。

集合教育研修の風景、「KYT」グループワーク内容の一部をご紹介します。

グループワーク風景

＜グループワーク＞

場面：配膳・食事介助

A氏（70歳代・男性）は食事をするところです。朝は検査のため禁食だったので、食事を楽しみにしています。

グループワーク意見

どんな危険があるか？	・熱い飲み物、汁物をあわてて食べてやけど、誤嚥の恐れがある ・食前薬はないのか？　・のどに詰まらせる ・テーブルがロックされているか？　・入れ歯の確認は？ ・蓋を取ろうとして慌ててこぼす ・ベッド柵が無く転落の危険がある ・お箸がない。取ろうとしてベッドから転落する ・ベッドの背もたれが無い為、後ろに倒れる ・食札、ネームプレートが無いので患者間違いが起こる ・エプロンをつけていない ・患者の意識レベルがわからない
どうすれば防げるか？	・声をかける（熱いのでゆっくり食べるように） ・熱いものは、手前より奥に置く ・おはしやスプーンの準備 ・食べやすい大きさに切ってゆっくり介助 ・患者の近くで食事介助 ・オーバーテーブルのストッパー確認 ・蓋を取ってあげる　・患者レベルを確認 ・入れ歯の確認　・エプロンやタオルをつける ・患者の名前と食事の種類確認（ベッドネーム、患者へ名乗ってもらう）

研修後の参加者の満足度は高く、「日々の業務の中でどのような危険があるかわからない。危機管理には、目配り、気配りが大切」「日々の整理整頓に心がけ、チームワークが大切であることを学んだ」などの声が聞かれました。

教育担当者からは、「細かいところに気付きがあった」「他者の意見を聞くことが、安全な看護補助技術に活かすための意識向上につながる」という意見が聞かれました。

今後、看護補助者教育は、看護補助者がチームの一員として協働、役割分担ができるように能力開発を進め、自律していく支援体制づくりが課題と考えています。

緩和ケア研修会　報告

緩和ケアチーム
企画責任者　　加治屋　芳樹

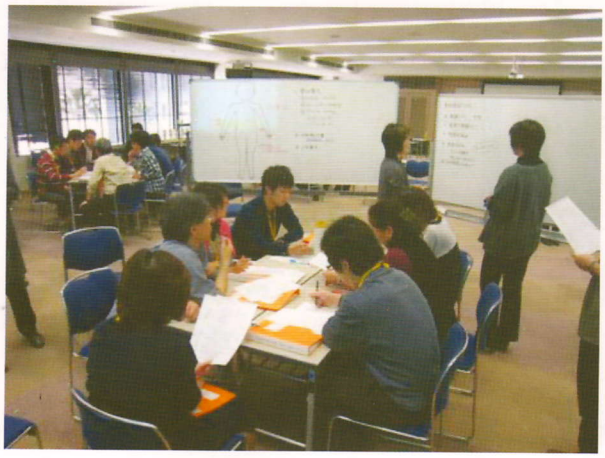
平成25年11月16日、17日の２日間にわたってかごしま市民福祉プラザにて鹿児島市立病院主催による第４回の「医師に対する緩和ケア研修会」を開催しました。

この研修会は平成19年がん対策基本計画ですべてのがん診療に携わる医師が研修等により、緩和ケアについての基本的な知識を習得することが目標にかかげられ、平成20年健康局長通知「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針」にもとづいて行われています。また平成22年、24年の診療報酬改訂において「がん性疼痛緩和指導管理料」「緩和ケア診療加算」「緩和ケア病棟入院料」「がん患者カウンセリング料」「有床診療所緩和ケア診療加算」「外来緩和ケア管理料」については緩和ケア研修会を終了した医師が治療に携わることが必須の算定条件になっています。

本研修会の開催には院外院内を含め当院の緩和ケアチームを中心に34名の医師や看護師、コメディカル、医事課職員の協力をいただき、市内の各病院、鹿児島市立病院からベテランの医師から研修医まで医師13名、院外から看護師５名、ソーシャルワーカー１名の参加者で２日間の研修が行われました。

講習会の内容としては緩和ケア概論からはじまり、がん性疼痛評価と治療、疼痛事例検討、放射線治療、呼吸困難、消化器症状、オピオイドを開始する時のワークショップ（テーマをグループで話し合い最後に内容と結論を発表する）、患者とのコミュニケーションの講義、患者や医師役になってのロールプレイング、がん患者の気持ちのつらさやせん妄の精神症状の講義、緩和ケアの地域連携のワークショップが行われました。

長時間にわたる研修で参加者のみなさんは大変だったと思いますが、ワークショップやロールプレインなど熱心に討論、実技に参加していただきました。
緩和ケアの地域連携のワークショップでは、鹿児島市以外の地域の地域格差や施設間の連携、緩和ケアの質をどう高めていくかなど熱心な議論が行われ　参加されたみなさんの熱意が感ぜられました。



このような緩和ケアの講習会や診療報酬改訂等もあり緩和ケアに対する関心も次第に高くなっており鹿児島市内では緩和ケア病棟も増加しています。
環境は次第に整備されてきていますが、今後はケアの質の向上や更なるネットワークの強化が望まれます。

人口構成の高齢化に伴いがん患者は増加しており、死亡総数は35万人（平成22年人口動態統計/厚生労働省）を越え死亡率一位を続けています。生涯で癌に罹患する割合も男性で58%女性43%であり、どなたにとっても身近な問題になってきています。がんの患者さんは身体的、精神的に様々な症状をかかえており、緩和ケアは終末期にだけではなくがん治療のはじめから開始されるべきものと考えられます。

緩和ケア研修会を通じて医療者間の相互の関連を深め鹿児島の緩和ケアへの意識や医療の質の向上に貢献できることを念じています。

なお来年度は平成26年11月８日、９日に本年と同様かごしま市民福祉プラザでの開催を予定しています。今回のご協力を感謝するとともに、次回以降も皆様の講習会への参加、御協力宜しくお願い申しあげます。

鹿児島市立病院だより　第16号

発刊日：平成26年１月
発行者：〒892-8580　鹿児島市加治屋町20-17
　　坪内　博仁　鹿児島市立病院長（事業管理者）
担　当：医療連携室・広報委員会
ＴＥＬ：099-216-3631
ＦＡＸ：099-216-3632
ＵＲＬ：http://www.kch.kagoshima.kagoshima.jp

この広報誌は、紙へのリサイクルに適した材料を用いて作成しています。

外来診療案内

★ 印の医師は、各診療科の部長となっております。　　平成26年1月1日付

内科

		月	火	水	木	金
神経		★ 池田賢一		池田賢一	池田賢一	
			能勢裕久			能勢裕久
			林　大輔		林　大輔	
					新名清成	
血液		川田英明		川田英明		川田英明
呼吸器	初診				籾　博晃	
			濵﨑哲郎			濵﨑哲郎
		新村昌弘				（第2　新村昌弘）
				福田宏正		
	再診		籾　博晃			籾　博晃
		濵﨑哲郎			濵﨑哲郎	
				新村昌弘		
糖尿病		堀之内秀治	堀之内秀治		堀之内秀治	
				宇都　正		宇都　正
				林　大輔		
		中島雅恵			中島雅恵	
						篠原ちひろ

※　外来主治医制 をとっています。 ご紹介の場合は、診察日・専門外来日を確認の上、お願い致します。
主治医の診察日以外の御紹介は、予め 御連絡下さい。

消化器科

		月	火	水	木	金
消化管 胆・膵	初診	★ 美園俊明			美園俊明	
			吉永英希			吉永英希
				隈元　亮	隈元　亮	
	再診		美園俊明		美園俊明	
				吉永英希		吉永英希
		隈元　亮				
胆・膵の検査		吉永／隈元	吉永／隈元	吉永／隈元	吉永／隈元	吉永／隈元
胃内視鏡		吉永英希	隈元　亮	美園俊明	吉永／隈元	佐藤拓史
胃・腸透視			久保園高明			美園俊明
大腸内視鏡		吉永／隈元	久保園高明	吉永／隈元	吉永／隈元	佐藤拓史

※ 検査予約 及び お問い合わせは、午後14時から16時の間にお願い致します。

循環器科

		月	火	水	木	金
初診			★ 濱崎秀一			濱崎秀一
		小川正一		小川正一		
		二宮雄一				二宮雄一
			加治屋　崇		加治屋　崇	
		尾辻秀章		尾辻秀章		
			有川　亮		有川　亮	
再診		濱崎秀一			濱崎秀一	
					小川正一	
			二宮雄一			
						加治屋　崇
						尾辻秀章
				有川　亮		

※ 外来主治医制・再診は 日・時の予約制 をとっています。
※ 24時間救急体制 をとっています。
平日8時30分から17時までは循環器科外来へ、時間外は救急センターへ御連絡ください。

小児科

		月	火	水	木	金
紹介		★ 鮫島幸二				
			島子敦史			
						渡邊健二
				森田康子		
					中川俊輔	
専門		益田君教		益田君教		
					島子敦史	
		四俣一幸		四俣一幸		四俣一幸
				新小田雄一		新小田雄一
						川上　清
			檜作和子			
					立元千帆	

※ 初診の方は紹介制となっております。紹介状をご持参下さい。（再診の方は予約制になっております。）
※ 各専門分野は、初診・再診ともに予約制となっております。予め電話でご連絡ください。
専門分野　川上　清、新小田雄一：血液・悪性腫瘍 ／ 益田君教：循環器 ／ 島子敦史：循環器 ／
四俣一幸：神経・代謝 ／ 檜作和子：内分泌・代謝 ／ 立元千帆：アレルギー

整形外科・リウマチ科

		月	火	水	木	金
初診				★ 中村雅洋		中村雅洋
		泉　俊彦	泉　俊彦			
		藤元祐介			藤元祐介	
					香川陽一	香川陽一
			伊集院俊郎	伊集院俊郎		
再診			中村雅洋			
					泉　俊彦	
				藤元祐介		
		香川陽一				
						伊集院俊郎

※ 小児整形は　初診：水・金曜日 、再診：火曜日　となっております。

※ 受付時間は原則として、平日の午前8時30分から午前11時までとなっております。

外科・心臓血管外科

	月	火	水	木	金
消化器外科	交替（※1）	★ 濵田信男	交替（※1）	濵田信男	交替（※1）
		中村　登		中村　登	
		本髙浩徐			
				九玉輝明	
血管外科				★ 牛島　孝	
		峠　幸志			
呼吸器外科（※2）	柳　正和（※2）		柳　正和（※2）		柳　正和（※2）
乳腺外科			金子朋代		

※1　消化器外科は月・水・金曜日が手術日のため、濵田・中村（登）・本髙・九玉 の 交替制となっております。
※2　呼吸器外科は、初診・再診ともに予約制となっております。受診予約につきましては、医療連携室へご連絡ください。
※3　ストーマ外来は、毎月　第1水曜日です。

形成外科

	月	火	水	木	金
初診・再診	★ 森岡康祐		森岡康祐		森岡康祐
		栗原幸司		栗原幸司	
					浅見　崇
			亀井　航		
	園田わかな				
				中尾　崇	
	野元清子	野元清子			

脳神経外科

	月	火	水	木	金
初診		★ 平原一穂			
					山田正彦
				石井　毅	
	西牟田洋介				
			田中俊一		
			川原　団		
再診				平原一穂	
		友杉哲三（小児）			友杉哲三
			山田正彦		
		石井　毅			
			川原　隆		
					西牟田洋介
	田中俊一				
				比嘉那優大	
		川原　団			
					（坂元健一）
特殊外来		平原一穂（頭痛）			

※ 初診担当医は手術のため変更になる場合があります。担当医の希望がある方は電話で事前に御問合せ下さい。
※ 特殊外来受診時は、事前に電話で御問合せ下さい。

皮膚科

	月	火	水	木	金
初診・再診	★ 三好逸男	三好逸男	三好逸男	三好逸男	三好逸男
	矢野祐子				
	玉井真理子			玉井真理子	
専門検査 処　置	アレルギー検査 生検・手術	生検	アレルギー検査 生検・手術	アレルギー検査 生検	生検
特殊治療		黒～茶あざ Qスイッチ ルビーレーザー			赤あざ

※ 専門検査・処置・特殊治療は予約制となっております。
※ 学会等で主治医が不在の場合があります。事前に電話にてご確認下さい。
※ レーザー治療とパッチテストは、原則として6月～9月は実施しておりません。
※ 初診の方は紹介制となっております。医師の紹介状を持参のうえ、お越し下さい。

泌尿器科

	月	火	水	木	金
初診・再診	★ 五反田丈徳	（※1）	五反田丈徳	（※1）	五反田丈徳
	一美貴弘		一美貴弘		一美貴弘
		萱島恒善			
透析	松田良一郎		松田良一郎		松田良一郎

※（※1）火・木曜日の外来診療担当医は、手術の都合により不定期となりますのでご了承ください。
※ 当科では入院患者様の透析加療を行っており、外来での通院維透析は行っておりませんのでご了承ください。
※ 小児泌尿器科は毎月第1週木曜日、14時～16時の予約制で行っております。
（都合により週が変更となる場合もございますので、事前にお問い合わせください）
※ 尿路ストーマ外来は毎月第3週木曜日、13時30分より予約制で行っております。

歯科口腔外科

		月	火	水	木	金
午前	初診		★ 上橋陸海	手術		上橋陸海
		平原成浩			平原成浩	
	再診	上橋陸海	上橋陸海		上橋陸海	上橋陸海
		平原成浩	平原成浩		平原成浩	平原成浩
午後		手術	障がい者（児）歯科		障がい者（児）歯科	手術

※ 水曜日（終日）および、月曜日・金曜日午後は手術となっております。
※ 障がい者（児）の全身麻酔下集中的歯科治療や、合併症を有する患者さんの歯科治療に関しての詳細は、お問い合わせ下さい。
※ 不在の場合もありますので、ご紹介頂く際は確認をお願い致します。

産科

	月	火	水	木	金
初診	上塘正人			上塘正人	
high risk外来		前田隆嗣			
			谷口博子		
	池畑奈美				
					田平達則
low risk外来				中村俊昭	
			川畑宜代		
		松本　純			
					荒木　楠

※ 救急症例以外は予約制となっております。緊急で外来受診の場合は、必ずお電話にてご一報ください。

婦人科

	月	火	水	木	金
婦人科 初診	★ 波多江正紀			波多江正紀	
			中村俊昭		
		川畑宜代			山本文子（※2）
婦人科 再診			波多江正紀		
		上塘正人			
	中村俊昭				
				前田隆嗣	
			山本文子		
					谷口博子
					池畑奈美
	川畑宜代				
		田平達則（※1）			
		荒木　楠（※1）			
				蔵屋一枝	

（※1）　1・3・5週は田平医師、2・4週は荒木医師の診察となっております。
（※2）　4月1日以降、金曜日の初診は休診となります。
※ 再診の方については予約優先となります。ご予約については平日14時から17時の間に婦人科外来へご連絡ください。
※ 初診の方につきましては、ご予約を承っておりません。ご了承ください。

眼科

	月	火	水	木	金
午前（初診・再診）	★ 上村昭典	手術 予約検査		手術 予約検査	上村昭典
	中野哲郎		中野哲郎		
			尾辻　太		尾辻　太
	吉永就正	（専門外来）	吉永就正	（専門外来）	吉永就正
		牧内玲子		牧内玲子	
午後	予約検査・診察	（手術）	予約検査・診察	（手術）	予約検査・診察

※ 初診について　　・月・水・金曜日となっております。一般外来のご紹介も、月・水・金曜日にお願い致します。
※ 再診の方は、完全予約制となっております。ご予約については平日15時から17時の間に眼科外来へご連絡ください。
※ 火・木曜日について　・手術日となっております。
・専門外来として、黄斑変性外来および糖尿病網膜症外来を行っております。
（緊急疾患、黄斑変性外来へのご紹介については事前にお問い合わせください）

耳鼻いんこう科

	月	火	水	木	金
初診	※ 手術の為 一般外来休診	（※2）	★ 花牟禮　豊	（※2）	花牟禮　豊
			林　多聞		林　多聞
			中島崇博		中島崇博
			高木　実（※1　交替制）		高木　実（※1　交替制）
再診		花牟禮　豊		花牟禮　豊	
		林　多聞		林　多聞	
		中島崇博		中島崇博	
		高木　実		高木　実	
小児難聴外来	鹿島直子（※3）（午前中のみ/要予約）		鹿島直子（※3）（午前中のみ/要予約）		

※1 水・金曜日は手術日の為、初診は交代制となります。担当医の希望がある方は電話で事前に御問合せ下さい。
※2 火・木曜日は再診日です。初診のご紹介は水・金曜日にお願いいたします（急患についてはお問い合わせください）
※3 新生児スクリーニング二次検査を含めて、小児難聴外来を行っております。（要予約）
平日15時から17時の間に耳鼻科外来へご連絡頂き、紹介状持参のうえ受診をお願い致します。

放射線科

	月	火	水	木	金
初診・再診	★ 内山典明	内山典明	内山典明	内山典明	内山典明
	加治屋芳樹	加治屋芳樹	加治屋芳樹	加治屋芳樹	加治屋芳樹
透視検査		内山典明		内山典明	
	加治屋芳樹		加治屋芳樹		加治屋芳樹
RI検査	内山典明		内山典明		内山典明
		加治屋芳樹		加治屋芳樹	
緩和ケア外来				加治屋芳樹（※）	

※ 緩和ケア外来は、毎週木曜日　14時から16時　（完全予約制　一人30分程度）となっております。

小児外科

	月	火	水	木	金
初診・再診			★ 野口啓幸		野口啓幸
			松久保　眞		松久保　眞

※ 急患以外は、出来るだけ 水曜日か金曜日にお願い致します。それ以外の曜日は、手術のため お待ち頂く場合があります。

鹿児島市立病院　〒892-8580　鹿児島市加治屋町20番17号
【電話代表 099-224-2101】【医療連携室　電話 099-216-3631　FAX 099-216-3632】